

NPO法人 白川郷自然共生フォーラム会報誌

Symbiosis Letter

[シンビオシス レター]

2020
4

いっしょに
理事長 田中泰

「外で遊ぼう。
森へ行こう。」

いつもよりも早い春が訪
れました。始まりを告げるツ
クシもフキノトウも、まるで
暖かさに我慢できずに吹き
出てきたようでした。

さて昨シーズンの冬は記
録的な雪不足と新型コロナウイルス
ウィルスの影響で、白川郷へ
お越しいただいた方が本当
に少なかったです。とても残
念でした。

しかし春の風景は変わら
ず美しいままです。合掌家屋
と新緑と残雪と、カタクリ
とギブチヨウとオオルリと。
人間の悩みには全く関係な
く、いつも通りの姿を見せて
くれます。我々の生活もかく



研修のご案内

受託先であるトヨタ白川郷自然学校を活用し、研修プログラムを提供しています。日常業務とは異なる課題解決型グループワークを通じて、企業人に求められるヒューマンスキルの向上に寄与するプログラムをご提供いたします。また、連帯感を強めコミュニケーションを醸成することを目的としたプログラムや、社会貢献活動や環境意識の向上など、目的に沿ったプログラムをご提案しています。

■自ら考え、自ら行動する企業人を育成するグループプロセス実習

例 合意形成が求められる課題達成型グループワークを通じて組織行動において大切なことや、参加者自身の態度への気づきを促し、普遍的なヒューマンスキルを啓発します。



【その他のプログラム】 > ■社会行動経験学習 ■オリエンテーリング ■小講義
■コミュニケーション実習 ■ふりかえりとわかちあい



●NPO法人 白川郷自然共生フォーラムは、トヨタ白川郷自然学校の運営ならびに地域の自然保全活動などに取り組んでいます。会員(法人・個人)は随時募集しています。
●会員になられた方には(宿泊費・イベント参加費の割引)や(会報の送付)などの特典があります。会員登録方法については下記へお気軽にお問い合わせください。

車でのアクセス

- 東名高速・名神高速一宮JCT→東海北陸自動車道(2時間)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校
- 北陸自動車道小矢部砺波JCT→東海北陸自動車道(40分)→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面(10分)→トヨタ白川郷自然学校

発行者 NPO法人 白川郷自然共生フォーラム

Forum for Environmental Symbiosis in Shirakawa-go

〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223(トヨタ白川郷自然学校内)

TEL.05769-6-1185 FAX.05769-6-1287

Mail. info@f-ess.com HP. http://www.f-ess.jp/

「外で遊ぼう。
森へ行こう。」
今年度もよろし
くお願いいたし
ます。

ありがたいものです。
白川郷のきれいな空気と
おいしい水で体を癒し、森
の中で遊んだり学んだり成
長したり。そのような景色も
また変わらず続いていくの
が良いと私たちは考えてい
ます。子どもたちは知恵を
身につけ森を駆け巡り、大人
の方々はゆっくり過ごす。そ
んな休日スタイルをこの機
会にもっと多くの方に
体験いただきたいと思います。





大窪池を愛する会 活動報告



白川村の景勝地である大窪池。昨年度までの3カ年計画(2016~2018)による整備の結果、カタクリの群生やミズバショウ、秋の紅葉風景を求めて、村内の家族連れや県外のカメラマンが訪れるようになりました。2019年度は周遊路の草刈りと憩いの場としてのスペース確保のために藪を大きく伐開しました。

あいにく天候に恵まれず、予定していた半分しか活動ができませんでしたが、のべ38名の会員の方々と白川村有志の方々と一緒に汗を流し、大窪池の景観が少しでも良くなるよう活動を行いました。

2020年度は、4/11-12、6/23-24、9/5-6、11/14-15の計4回を予定し、人々の憩いの場として使用していただけるよう、継続した維持管理活動を行ってまいります。



私たちの大窪池の
景観のために活動

公開講座

探求のプロセスを デザインする

近年、注目されつつある「探究型の教育」に取り組む進藤明彦特命准教授(神戸大学アドミッションセンター)を講師にお迎えし、1泊2日の講座を実施。プログラムの企画開発や教育旅行の営業に携わる職員10名がその理念や手法を学びました。

はじめに高校教育に「総合的な探究の時間」が導入された背景について理解を深めた後、自然学校の森のなかから「ふしぎ」を探し出し、自ら仮説をたて、検証する実践を通じて、仮説を立てる際に注意しなければならないポイントなど、探究型の学びに必要な支援を学びました。



登山届回収

アウトドアでの活動を推進する当フォーラムでは、安全に楽しく白山を楽しんでいただくべく、白山連峰の一部における登山届の管理及び登山指導を白山山岳遭難対策協議会より委託を受け、その業務を実施しております。

2019年度は仲間同士はぐれや道誤りによる救助要求など、知識や準備の不足を思わせるものもあり、登山届けの大切さも再認識されました。山を楽しむためにも登山届の提出は必須であり、その安全意識の向上に今後も貢献していきます。

人材交流

2019年度も昨年度に引き続き他団体(「国際自然大学校」(東京))との人材交流を実施いたしました。2019年度は2020年度までの2年間をかけ、双方職員のアクティビティスキルアップや新たな手法の発見など、より多くのことを深く学びあっております。また新たな視点で白川郷の魅力を再発見する機会になるなど、職場、同僚にとっても良い学びの機会となっており、今後も継続していく予定です。



里山遊び塾

2005年より白川村の支援を受け、健全な放課後活動の推進や地域の教育力の向上、豊かな自然環境への理解を目的として、村の子どもたちへ様々な体験を提供しています。

今年度も「山で生きていくようになるう」をテーマに、当フォーラムの持つアウトドアと安全管理のスキルを活かし、森の素材でつくる松明づくりや雪上テントでのキャンプ体験などを7回実施し、延べ79人が参加しました。そのうち三方岩岳の登山山菜・きのこ料理体験は、今年度も白川郷学園の授業「ふるさと学習」の二環として継続実施し、学校教育と連携することができました。



グリーンツーリズム大会 in 白川郷



岐阜の新しいグリーンツーリズムを考える「ぎふグリーンツーリズム大会」が2019年11月5日~6日に白川郷で実施されました。伝統を生かしつつ、移住者や若者、外国人などと交わり、白川郷としてどういった未来を描いていくのかについて、事例を踏まえていくつワークセッション及びフィールドワークが行われました。この大会は「ぎふの田舎」を行う「推進協議会」主催にて開催され、全体を通じて過去最多の約130名の参加があり、大盛況にて閉会となりました。当フォーラムが事務局として協力している「まるごと体験協議会」も運営に協力し、遊澤寿一氏による基調講演や分科会の開催、社会創生や地域創生を考える場を設けるお手伝いすることができました。



大白川 [白川村指定管理]



白川村より「白山ブナの森キャンプ場」、「白水レイクサイドロッジ(及び周辺施設)」並びに「大白川露天風呂」の指定管理を受託いたしました。気持ちよく利用いただくための整備も行いながら運営し、コバルトブルーの白水湖やブナの原生林に囲まれたキャンプ場などその魅力を発信することで、キャンプ場はのべ1,075名、露天風呂は3,000人以上の方々にご利用いただくことができました。



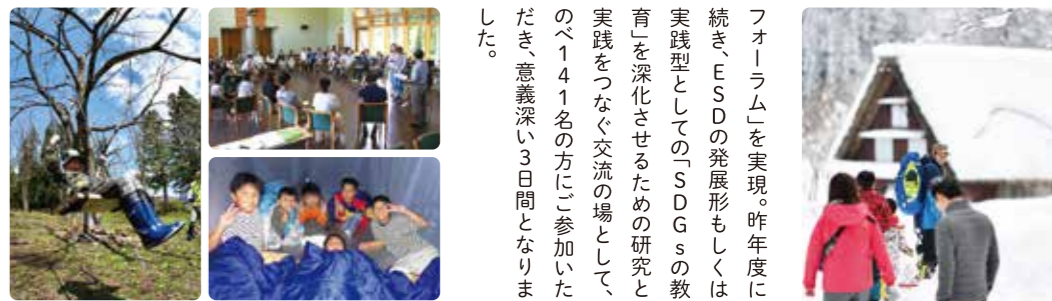
深く自然の中で過ごす素晴らしい時間を多くの方に知っていただくため、2020年度も引き続き指定管理を受託してまいります。



トヨタ白川郷自然学校



2019年度もトヨタ自動車(株)から委託を受け、「トヨタ白川郷自然学校」の運営を行い、年間延べ12,450人(2020年2月時点)の方に泊り頂きました。アクティビティインナップ計15、白川GO!GO!キャンプ計10を実施し、延べ3,717名様(2020年2月時点)の方にご参加いただきました。また、遊べる仕掛けがいろいろの「どんぐるの森」を充実させたり、アクティビティの延長サービスにも挑戦し、「こ来校いただいたお客様により自然を楽しんでいただける工夫を行いました。2020年度も引き続き委託を受け、多様なアクティビティと美味しい食事、沢山のお客様に自然の中で過ごす楽しさをお伝えしていきます。尚、2019年も9月8日、10日にトヨタ白川郷自然学校にて、公開講座「SDGs教育



フォーラム」を実現。昨年度に続き、ESDの発展形もしくは実践型としての「SDGsの教育」を深化させるための研究と実践をつなぐ交流の場として、のべ141名の方にご参加いただき、意義深い3日間となりました。